

# 第8期坂井市行政改革推進協議会

## 第1回 議事録

令和2年11月10日

会議	第1回 坂井市行政改革推進協議会		記録	承認
日時	令和2年11月10日 (火) 午後2:00～		事務局 草壁	行政経営課 細川課長
場所	坂井市役所 3階 災害対策本部室			
出席委員	井上会長、細川委員、中川委員、清島委員、高緑委員、岡本委員、大霜委員、中林委員、寺本委員、矢部委員、柏山委員			
欠席委員				
事務局	北川副市長、山田総務部長、浦井財務部長、松本総務部次長兼総務課長、奥出財務部次長兼財政課長、細川行政経営課長、同課木下課長補佐、同課草壁主任			
資料	資料1 協議会の設置目的と役割 資料2 坂井市行政改革推進協議会設置要綱 資料3 坂井市の現状 資料4 坂井市行政改革の取り組み状況			
I 開会	1 委員委嘱	(行政経営課長)	<p>それでは皆様お揃いになりましたので坂井市行政改革推進協議会を始めさせていただきます。本日進行をさせていただきます、行政経営課の細川と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様お忙しい中、坂井市行政改革推進協議会委員をお引き受けいただき、ありがとうございます。</p> <p>坂井市では合併以来、行政改革に取り組んでおりまして、その取り組みについて、この協議会でご意見をいただき進めております。</p> <p>今回の協議会は第8期となりまして、役割については後程ご説明させていただきます。</p> <p>まず初めに委嘱状を交付いたします。今回、第8期行政改革推進協議会委員として11名の方をお願いしております。</p> <p>代表しまして大霜範子様、恐れ入りますが前のほうへお願いいたします。</p> <p>ほかの皆様につきましては、机の上に委嘱状を置いてございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(委嘱状交付)</p> <p>それでは行政改革推進本部長であります、北川副市長よりご挨拶申し上げます。</p>	
	2 行政改革推進本部長あいさつ	(副市長)	<p>皆さんこんにちは。一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>今日は皆さんお忙しいところ坂井市行政改革推進協議会にご出席をいただきありがとうございます。また日ごろ行政改革はもとより、市政多岐にわたっていろいろご協力をいただいております。改めまして厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、坂井市も皆様ご存じのとおり、合併してから今</p>	

I 開会	2 行政改革推進本部長あいさつ	(副市長)	<p>年で15年目でございます。そんな中で大きな課題として行政改革がありまして、行政改革については後程いろいろご説明があるかと思っておりますけれども、5年に一度目標を立てて進めていくということで、今年が第3次行政改革の4年目ということでございます。これまでいろんな取組、職員定数の適正化でありますとか、指定管理者制度の導入、補助金の見直しなど、また市民との協働ということでまちづくり協議会であったり、コミュニティセンターの整備など進めてきたところでございます。</p> <p>これから2年間、皆様に行政改革推進協議会委員をお願いするわけでございますけれども、来年には第4次行政改革の計画を作るということとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、この場所ですけれども、新たな増築棟と前の既存棟を活用して新庁舎整備を進めているところです。増築棟については今年8月に完成しまして、市民課、上下水、企画、総務などが入って業務を開始しております。来年の3月には既存棟の改修も全部完成する予定でありまして、窓口もワンストップというか、市民の方が使いやすいものになります。また時間があれば庁舎のほうも見て頂ければと思います。</p> <p>今日は今年度はじめての行政改革推進協議会ですけれども、とくに今年はコロナの関係でいろんなイベントが中止になったり延期になったり、また縮小されたりということで、あまり動きがないわけでございますけれども、少しずついろんな事業に取り組んでいきたいと思っております。今日は皆様にいろんなご意見をいただきながら進めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
	3 委員及び事務局の紹介	(委員)	(委員自己紹介)
		(事務局)	(事務局員自己紹介)
	4 坂井市行政改革推進協議会の設置目的と役割について	(行政経営課長)	【資料1】坂井市行政改革推進協議会の設置目的と役割について説明
	5 会長選出	(行政経営課長)	<p>続きまして、会長の選出でございます。</p> <p>資料2、坂井市行政改革推進協議会設置要綱をご覧ください。この協議会の会長につきましては、第5条の規定により、会長は学識経験者をもって充てられておりますので、たいへん恐れ入りますが、東洋大学の井上武史教授にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは井上会長よりご挨拶をいただきたいと思います。</p>

I 開会	5 会長選出	(行政経営課長)	す。
	6 会長あいさつ	(井上会長)	<p>ただいま坂井市行政改革推進協議会の会長ということでご指名いただきました、東洋大学の井上でございます。</p> <p>前期も会長ということでさせていただいたわけですが、今期もまた皆様どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>これまでの継続でご参加いただいている方、それから今回新たにご参加いただいた方、半々いらっしゃると思います。そういう意味ではこれまでの課題を踏まえてご発言いただける部分と、全く新しいところからご意見いただける部分と、両方あって非常に活発な議論ができるのではないかと期待しているところでございます。</p> <p>こうやって新しい庁舎で、いい環境で会議できるということも大変ありがたいと思いますし、また今年は新型コロナの関係で地方行政のあり方というものも問われております。また新しい総理大臣のもとで、縦割り行政でありますとか、デジタル化とか、行政改革に関わる話題もたくさん出てきております。そういった意味で、今回の行政改革に求められるものは非常に大きいのではないかと考えております。</p> <p>今年はこれまでの行政改革の進捗確認になるということですが、来年度になりますと、また新しい行政改革の作成も入ってくるということでございます。</p> <p>そういった意味では、この1年間で、行政改革とはどのようなものか皆様にそれぞれ感じ取っていただきまして、次の行政改革につなげていけるような議論もできたらいいのではないかと考えております。</p> <p>非常に重要な会議だと思いますけれども、日ごろ行政サービスを受けている皆様にとっては、そのサービスに対していろんなご意見あろうかと思いますが、本来行政改革というのは、そういったサービスをどのように企画立案し実行していくかという、いわば役所の中の問題なんですよね。そうなると思うと普段の生活からは見えにくいところもあろうかと思えます。行政特有の用語等もございませし、最初のうちは少し戸惑うこともあるかと思えますけれども、どうか辛抱強くお付き合いいただきまして、行革についてそれぞれの立場からご意見いただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
II 会議	1 坂井市の現状について	(行政経営課長)	ありがとうございます。ここからは井上会長の進行によって進めてまいりますので、会長、よろしく願います。
		(井上会長)	それでは次第に基づきまして進めてまいりたいと思

II会議	1 坂井市の現状について	(井上会長)	ます。まず1番目、坂井市の現状について、事務局より説明をお願いします。
		(行政経営課)	【資料3】坂井市の現状 1 人口の推移と将来予測について説明
		(財政課)	【資料3】坂井市の現状 2 財政の状況について説明
		(井上会長)	ありがとうございました。坂井市の現状ということで、人口と財政と、それぞれご説明をいただきました。概要ということでしたので、より詳しいことですか、その他要望であるとか、いろいろとあるかと思います。どんなことでも結構です。ご質問を伺いたいと思います。よろしいでしょうか。
	2 坂井市行政改革の取組状況について	(井上会長)	それでは、次の議題に入りたいと思います。坂井市行政改革の取組状況でございます。
		(行政経営課)	【資料4】坂井市行政改革の取組状況について説明
		(井上会長)	ありがとうございました。これまでも行政改革には取り組んできたわけですが、ここ最近の、特に進展があったものを中心にご説明いただいたと思います。皆様においてはそれぞれ資料をご覧ください、気になるところ、ご質問等ありましたらお受けしたいと思います。もしよろしければ感想でありますとか、そういったものでもかまいませんので。せっかくの機会ですので、できればお一方ずつご発言いただければと思っています。
		(委員)	第3次行政改革の令和元年度までの財政効果についてお尋ねします。 資料によると2.6億円、3年間で8.28億円の効果額があったとの事ですが、今ある項目全てが完全に実施された場合にどれくらいの効果があるのか数字はありますか。また、令和元年の決算状況の資料によると歳入合計が473億円、歳出が458億円、これに対して収益の改善や経費の削減がなされたという意味なのですか。 そのあたりの全体像が少しわかりにくかったのと、効果の大きさがよくわからないので、もう少しご説明いただけますか。
(事務局)	ここでの効果額は、あくまでそれぞれの項目を実施した実績の積み上げによって算出したものであり、未完了の項目について試算したような数字は持っていません。 二点目の、財政資料のどの部分に効果額があらわれてくるのかということですが、こちらについても同様で、個別項目の数字の積み上げになっており、財政資料の中では埋もれてしまっております。お答えにはならないかもしれませんが、積み上げの数字であるご理解いただ		

II会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(事務局)	ければと思います。
		(井上会長)	<p>おそらく収入の増加ということになると、税金の徴収を強化するとか、封筒に広告を載せるとか。そんなことではないかと思います。</p> <p>全部を完全に実施したときの効果というものは、今説明がありましたように、特に計算はしていないのですけど、できることをできる限りやっつけていこうというスタンスで取り組んでいるものと思います。</p>
		(委員)	私も財政効果というものについてあまりピンときてないのですが、それぞれの取組に対して、経費とかも引いて丸々黒字になったという考え方でいいのですか？
		(事務局)	<p>本来であれば、おっしゃるように入ってきた収入からかかった経費を差し引いて効果額というものを出すものかと思います。ですが市の財政の中でということになると、どの部分がどの部分にかかってくる経費なのかという算定が複雑になってしまい、非常に困難であるという事情がございます。この行政改革における効果額の算出においては、単純にその取り組みをしたことによってどういった効果があったかという数字の積み上げとなっており、かかった経費については見ていないということになります。</p>
		(井上会長)	<p>例えば職員の数を減らしたということであれば人件費の削減となりますし、契約の方法を見直したとか、業者に値引きをお願いしたとか、そういった去年と同じことを去年より安くできれば経費削減になり、それらの積み重ねが歳出減の効果となって、浮いた分はほかに回せるので、市民サービスの向上につながっていくということかと思います。</p> <p>いろんな削減の方法があって、今申し上げたようなことが中心になるとは思いますけれども、そういったかたちで、ひとつひとつ積み上げているのではないかと。</p> <p>よろしいですか。他になにかいかがでしょうか。できればお一人ずつ。</p>
		(委員)	第3次までずっと取り組んできているということですけど、現在取組中のものについて、これらは第1次第2次から引き継ぎでやっているのか、第3次は第3次で終わらせるのか。中には難しいものもあるのではと思うのですが、そのあたりの状況はどうなのか、教えていただけますか。
(井上会長)	第1次からの継続の部分と今回新しく入っているものということですね。		

II 会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(行政経営課)	<p>ただいまのご質問について、資料4-2、行政改革大綱実施計画という資料の、5ページをご覧いただきたいと思います。</p> <p>参考という形になってはいますが、第2次大綱から引き継いで取り組む項目ということで、単発で終わらずに継続で取り組むべきものは次の計画に引き継ぐ、また1次2次で終わらなかったものについても、第3次大綱においてという形で取り組んでおります。それがこちらの表になっております。</p>
		(井上会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>私もこれまでの大綱に関心していますので申し上げますと、今回の大綱、5年間という計画のなかでどこまで進んでいるかを毎年確認するという点でこのようにお示しいただいているのですけれども、前回の計画の中で終わった部分についてはそれでよしと、終わらなかったものも一部ございますが、これも次の計画でさらに進めていこうというものが多いのだと思います。</p> <p>ただ状況の変化で、もうそこまでやらなくてもいいのではないかというものもありますので、全てを引き継いでいるわけではないのですけれども、やはりやらないといけないものについては次の計画に引き継ぐということになります。したがって、今、進捗状況を一部ご説明いただきましたけれども、これに関しても今後の進捗がこの期間中に完了は難しいものについては次に引き継ぐのか、これはもう区切るのかということが議論されるのかと思います。</p> <p>当然5年間という間にいろんな情勢の変化もありますので、新しく出てきた課題については次の計画で新たに盛り込んでいくということになるのだと思います。</p> <p>ただ職員の削減とか経費の節減であるとか、基本的な、行政改革の中心になってくるものはゴールを設定しづらいと思いますので、できる範囲で継続的に進めていくというかたちで、これまでの大綱でもずっと載せているものではないかと思っております。</p>
		(委員)	<p>43番の保育士人材バンクの設置について、平成30年度達成となっているのですけれども、これから保育士さんはこういう形で募集していくということでしょうか？</p>
		(事務局)	<p>バンクを設置するというのが目標だったものですから、平成30年度で達成という形にしております。</p> <p>今回設置したバンクを実際に活用して保育士の確保を進めていく、ということについては今後も継続して取り</p>

II会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(事務局)	組んでいくところです。
		(委員)	<p>今年はコロナの影響で、保育士さんの離職や待遇のことが度々話題になりました。特に臨時保育士さんの待遇があまり良くないのではないかと、ということも耳にしています。</p> <p>坂井市においてはそういった点も意識した制度にしてもらい、せっかく作ったものを有効活用してもらいたいと思います。</p>
		(副市長)	<p>保育士の問題は、全国的に厳しいところです。</p> <p>今坂井市においては、保育士は55%ほどが正職員で、45%ほどが臨時、坂井市では会計年度職員というのですが、そういう状況です。</p> <p>それというのも、昔は3歳児から保育所に通っていたのが、今は0歳児から入所するようになっており、0歳児が3人増えると保育士を1人増やさなければならないので、財政のこともありますが、なかなか正規で雇用しておくということが難しいという現状があります。これは全国どこの市町でも同様かと思っています。</p> <p>坂井市の場合は、会計年度職員について、年数に応じた退職金制度も改善されました。確かに正職員と比べると低いのですが、妥当な水準ではないかと思っています。</p> <p>もうひとつ、働き方の選択として、あえて正職員にならず会計年度職員でいると、そういう方も結構いらっしゃいます。</p> <p>待遇の改善ということは、当然考慮しないといけないことですので、これからも毎年組合と話をしながら取り組んでまいります。</p>
		(委員)	<p>ありがとうございます。是非それを保育士の待遇を心配している皆さんにもお話したいと思います。</p> <p>保育士さんについては以前に保育所の統廃合と民営化というものもあったので、働く場所が不安定なのではないかと思っている方もいるのかなと思います。</p> <p>今回コロナというのがあって、なおのこと保育士さんの待遇というのがクローズアップされているかと思えますので、是非坂井市では今おっしゃったようにやっていただけるように、お願いします。</p>
(副市長)	<p>今おっしゃった保育所の民営化と統廃合ですが、この計画は坂井市では終わっています。民営化にあたって保育士さんを退職させたというようなことは決してありません。ほかの保育園で引き続き正規で働いてもらうということでやってきました。</p> <p>保育士さんというのはなかなか、定員に達しないとい</p>		

II 会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(副市長)	うほどではないけど、昔と比べると最近では応募者が少ないというのが現状です。これも多分どこもそうで、まだ坂井市は確保できているほうとは思いますが、将来的にはわからないものでバンクを作って、保育士の不足という事態に対応していこうということです。
		(委員)	ありがとうございます。
		(委員)	40、41番について、上下水道のことですけれど。今坂井市で下水の普及については、まだまだ市債を出して、投資して整備しないといけないのでしょうか？全国的には水道事業を民営化しているなど、報道されるところもあるので。
		(副市長)	上下水道、特に下水道ですね。合併して15年経ちますが、下水道の整備が遅れているのは丸岡と坂井で、旧三国町ではほとんど整備済でした。そして3年ほど前に、市内において下水道の整備は済んでいます。ただ各戸に繋いでいるかということ、一部集落によってはまだ繋いでいないところがあります。それは何故かということ下水道より前に浄化槽をつないでいるからで、一応規則としては、下水道を整備してから3年間以内に繋いでもらわないといけないのですが、1人暮らしなんかだと、お金のかかることでもありますし、強制的にやるというわけにもいかないので。まあそれでも、なるべく早く下水道につないでいただきたいということで、市としても進めていきたいと思っています。
		(委員)	さきほどの説明を伺うと、人口は減っていると、けれども世帯数は増えているということで、私たちの周りの実態を見ましても、やはり高齢者の単身世帯なんかが増えています。そこで防災の面で考えますと、なにかあったときにどういうふうに対処したらいいのかと。私たちはボランティアとしていろんな活動を進めてまいりました。でも、こと命に関することはやはり行政主体でしょ、という思いを今まで持っていたのですね。でも昨今の生活レベルでの集中豪雨ですとか、ああいった災害をみますと、これは行政だけでは絶対だめだなと、行政と住民が一体となって進めていかなければならないのだろうと痛感しています。そんななかでご近所の方なんかには話をうかがいますと、「私は要援護者支援台帳に登録しているから、何かあれば役場の人か助けてくれるんだ」と、そういう思いを持っていたり、また一人暮らしの人に避難場所を知っているのかと聞くと、「もう私は避難はしない」と。「避難し

<p>II 会議</p> <p>2 坂井市行政改革の取組状況について</p>	<p>(委員)</p>	<p>て家が壊れたら、かえって生活する場もないし、なら一緒に死んだ方が」と、そんな極端なことをおっしゃる方もいるんですね。息子さんなんかは都会に出てらっしゃる。そこで「息子さんの気持ちになったらどう？」と言うと、はじめてああそうだと、何かあったらみんなと一緒に避難しなきゃいけないねと、そういう気持ちになってくれるんですね。そういった取組をするというのは、地域の中でもっと身近な、昔でいう向こう三軒両隣というか、そういったネットワークを構築しないと、これからの時代は大変なことが起きてくるのではないかと、そんなことを痛感しています。</p> <p>私は社協に属しているんですが、社協には福祉委員制度というのがありまして、小さな30軒か40軒かの集落ごとに一人、必ず福祉委員がいます。数にしますと全体で六百数十名、この方たちが地域の高齢者の方の見守りをしていてくれるんですけども、民生委員さん、民生委員さんは少し大きい地域をもってらっしゃいますよね、それと区長さん、一年に一回は福祉関係みんな集まりまして、これ坂井町全部やっているのですが、マップづくりというのをしているんですね。それは毎年書き換えて、区長さんも持っています。でもそのマップづくりをしてもそれが活かされているのかというと、活かされてないんですね。私はどうして行政がこれをうまく利用してくださらないんだろうとずっと思っていて、気づきましたのは、せっかくたくさんの方の、600名ほどの福祉委員さんの位置づけがないんですね。社協から委嘱されてはいますけれども、行政との連携が取れていない。そうしますと市民の見方も違いますし、福祉委員さんは身近な自分たちの地域のそういった人を拾って、見守りをして、なにかあれば区長さんに連絡を、民生委員さんに連絡を、といった連携の取り方、その位置づけを行政がしてくださると、この組織はすごくうまく回るんじゃないか、こんな強い防災組織はないんじゃないかというふうに思うんですけども。そういったところの検討は、どのようにお考えでしょうか。</p>
	<p>(総務部長)</p>	<p>今ご意見いただいたのはそのとおりでございまして、地区のほうでは民生委員さん、福祉委員さん、一緒になって、今おっしゃったように見守り隊という形で取り組んでもらっています。また福祉委員さんの位置づけということですが、確かに一番身近なところの福祉委員さんが市とは直接繋がっていない、社協の委員さんという形になってしまっているのですが、その部分は民生委員</p>

II 会議	2 坂井市行政改革の取組状況について		<p>さんを通じて一緒にやっていたのかなとは思っていません。</p> <p>ただ最初のお話にありましたように、世帯数が増えているけど人口は減っている、一世帯あたり 3 人を切るような状況において、地区のつながり自体がどんどん薄れてしまっている現状もあるのかなというふうに思っています。みなさん地区でやってくださいと言っても、地区にとっては大変重みになってしまう部分も出てきてしまいますので。</p> <p>これからの大変重要な課題であるとは考えていますので、皆様におかれましてはご支援、ご協力いただけたらと思います。</p>
		(委員)	ぜひご検討をお願いします。
		(委員)	<p>取組中となっている 28 番、文書配布業務について。</p> <p>私は文化協議会にも所属しています。先日、市の文化祭が各地で行われたのですが、来場者が以前と比べて減ってきています。なぜかという以前は開催のお知らせを各戸に文書で配布していたのですが、今はそれできないんですね。だから文化祭があったかどうか知らない人がいるんです。</p> <p>なぜ以前のように文書配布できなくなったのかというと、聞いた話では区長が断るからやめるということなのですが、それはそれでいいのか。なんのための区長かというと、それは住民のための区長だと思うんですね。</p> <p>情報の周知をどうやるかということで、今はデジタル化もありますけど、年寄りもたくさんいますから。やっぱり紙で見ないとわからない方もいると思うんですよ。</p> <p>これをなんとか改善してもらえないかと。まち協のイベントなんかについてもプリントを渡せないのです。ですからこれ取組中になっていますが、今どのようになっているのか、この点を少し聞きたいです。</p>
		(井上会長)	削減しすぎて不都合になってしまっているというご意見ですね。
		(委員)	<p>今の話に関連してですが、先日春江中部まち協のイベントの開催案内を広報誌に載せてもらったのですが、広報誌が家に届いたタイミングでは、もうすでにイベントやっていたという事例があったんですね。</p> <p>まち協のほうでも SNS を使ったり、いろいろ情報発信をやってはいるんですけども、やはり紙が一番伝わりやすいのかな、というのはすごく感じています。たぶん PTA さんなんかもそうかなと思うのですが、直近で皆さんに知っていただきたい情報というのは、やっぱり</p>

II 会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(委員)	今までどおり紙ベースで全戸配布というのも視野に入れて継続して進めていただけたらなと思いますので、ご検討をお願いします。
		(委員)	それで、新聞に月末についている次の月の予定表カレンダー、あれは新聞社がやっているんですかね、あれはすごく役立ってるんですよ。次の月に学校で何かあるとかごみの収集日とか、みんな書いてあるんですよ。
		(副市長)	今委員さんおっしゃったことは、なかなか難しいところもあるのですが、市として必要な情報は周知していかなければならないと思っています。 一方で、なんでも別紙でプリントを配ってもらうようにすると、だんだんと通知も多くなってしまい、区長さんの負担がどんどん大きくなってしまいうんですね。そこで市としては月2回の広報、情報紙がありますので、できるだけそちらで記事を出すようお願いをしているということなんです。 ただプリントが全くだめだというわけではないので、文化祭とかそういう大きな事業であったり、事情があるような場合は個別にご相談いただければと思います。
		(委員)	市の広報誌に PR で載せてもらえればいいのですが、それもだめと聞いて。
		(副市長)	それは載せないということはないです。ただ今回はコロナ関係で通常の文化祭とは縮小したんですかね、そういったところで対応が不十分だったとしたら申し訳なかったけれど、けして市が文化祭の記事を載せないということはないです。 イベント関係の記事を出す時期が難しいということも確かにあって、あまり早く載せてもだめだし遅くてもだめですから。それもまた個別に言っていただければ。 回覧板というものもあるけれど、あれも回るだけであまり効果がないということもありますので。
		(委員)	何度もすいませんが、資料3について教えてください。6ページにあります行政改革の目標数値、これ令和元年は目標達成されて素晴らしい数字が出ているのに、4ページのほうでは貯金の残高が減っていますよね、これはどうしてこうなるのですか。 行政改革の目標は非常にいい数字で達成している、なのに市の借金は増えて、貯金は平成29年から比べて減っているんですよ。どうして目標達成しているのに現状の財政はよくなっていないのですか。
		(財務部長)	財政の指標を出すにあたり、さきほど財政課長の説明にもありましたが、有利な起債というのがあります。そ

II 会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(財務部長)	<p>これは地方交付税として国から最終的には戻ってくると、そういった起債を使っていますので、見かけでは借金は増えていますが、実質的な数値としてはそれほど悪くはありません。さらに基金、財政調整基金のほかにもいろんな基金がありまして、そういった基金がいくらか増えているので、実質的な将来負担率であったり公債費比率の数値はよくなっていると。こういうご理解をいただければと思います。</p>
		(委員)	<p>財政的には坂井市は悪くないということですか？</p>
		(財務部長)	<p>現段階で、決して油断はできないが、国の関与を受けるほど悪くない、健全であると考えています。</p>
		(副市長)	<p>借金が増えてるでしょ。これを見ると当然、なんて借金が多いんだと感じると思うんですね。</p> <p>でも合併した時に有利な制度、合併特例債というのですが、普通だと借金すると20%～30%ほど国からの交付金というのがあるのですが、合併したときの借金は70%を国が見てくれる。坂井市でも学校の耐震であったり改修、庁舎であったりと、そういったことにこの合併特例債を活用しています。</p> <p>そういうことで借金が多くなっているけど、財政的には悪くないということになるんです。</p>
		(委員)	<p>その特例というものはもうすぐなくなってしまうのですよね？</p>
		(副市長)	<p>いま合併して15年ですが、坂井市の合併特例債の枠というのが430億あります。特例の期限は元々10年間だったのが、東日本大震災なんかで期限がのびて、いまは20年間になりまして、まだ若干は期間があります。小学校の改修予定があといくつかあるので、その財源を確保しています。</p> <p>財政的には、借金があるので良いということはないですけどもまあ、そういう有利な借金なので。</p>
		(井上会長)	<p>携帯電話料金なんかも実質いくらでわかりにくいなんて言われますが、財政となると、わかりにくい部分もたくさんあると思います。</p> <p>行政改革のなかで重要なテーマでもありますので、こういったことも説明しながら進めていけたらと思います。</p>
		(委員)	<p>さきほどの人口の減少と、少子化と、世帯数の増加。これが何を意味するかと考えたときに、昔は親世代と同居するのが当たり前であったものが最近では町内でも別居する、それで世帯数が増えているのかなと思うんです。</p> <p>それと婚活といいますか、30そこそこの若者が結婚</p>

<p>II会議</p> <p>2 坂井市行政改革の取組状況について</p>	<p>(委員)</p>	<p>せずに子供も産まない。そうなるとどんどん悪循環で、子供の数、働く人数が減って、将来的に就業人口がどんどん少なくなってくると、坂井市においても人口が増えないとなり財政、税金の関係でも収入が減ってくるのではないかと。</p> <p>インフラとかそういうことも大事だとは思いますが、子供をたくさん、2人から2.4人くらい産まれるような環境づくり、また同居する家庭には補助金ではないですけど、極力そういう方向性の援助をして、坂井市に戻って結婚して子供を産めば手厚い、待機児童もいないし子育てしやすいと、そういう施策があるといいのかなと。</p> <p>また高齢者に対する考え方もピンピンコロリでなるだけ人の手を借りずに生活できるような。その両面で子世代と高齢者のバランスを常に考えながらまちづくりをやっていかないとと思うのですけれど。東京へ行ってもまた坂井市へ戻ってきて、坂井市で所帯をもつような魅力ある施策があるといいなど。行政改革のなかに少子高齢化対策というのはあるんですけど、具体的な項目としてあまりそういったことがないので、将来のことをもっと、どんどん人口が減って子供がいなくなる危機的な状況になる前に、手を打つといいかなと。そう感じました。</p>
	<p>(井上会長)</p>	<p>行政改革の本来の目的は行政サービスを提供するための行政側の体制づくりということになると思うんですけど、さきほどの話にありましたように財政の効果があらわれてくれば、保育士バンクとか、そういった必要なところに手厚くサービスを提供するということがつながっていくのかなと。なんのために行革をするのかという究極の目的が、今委員がおっしゃったようなところにあるのだと思います。それを行革にどう位置付けるのかというのはこれから議論していくことになると思うのですけれども、市の思いとしては今のようなことを念頭においていただけるとと思いますので、今後、どのように行革の中であらうたっていくのかということ議論していければ、と思います。</p>
	<p>(副市長)</p>	<p>少子化というのは坂井市だけでなく日本全体の問題で、各市町とも少子化対策いろいろやってはいます。</p> <p>坂井市においては、県外の大学へ進学した学生が地元へ帰ってもらえるように、高校のときから市内の事業所をPRしたりですとか、そういう取組もしています。</p> <p>また子育て支援策についてもいろいろな取り組みをしまして、子育てしやすい町ランクというのがありますが、そこで坂井市は非常に子育てしやすい町という</p>

II 会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(副市長)	<p>評価をいただいています。ただ少子化対策というのはなかなか難しいんですね。婚活もやっていますし、いろいろと。</p> <p>なかなか思うようにはいきませんが、あきらめずに市としても少子化、高齢化対策にも取り組んでまいります。</p> <p>行政改革というと減らすのが目的という考えもあるんですが、なにも減らすだけではなくて、無駄を省いて、他のサービスで活用するという面も含みますので。皆様もいろんなご意見ありましたらおっしゃって頂ければ、参考にしていきたいと思います。</p>
		(井上会長)	<p>それでは時間もありますので、次、最後でお願いします。</p>
		(委員)	<p>最後に二点お願いします。</p> <p>さきほどの保育士の件なんですけど、実際に保育士さん、もともとは待遇面いろんな問題もあるということで、国から給付金なんか支給されてると思うんですけども。たとえば国から私立の保育園におりてきた給付金、実際それをどう使うかというのはたぶん園長さんに権限があると思うんですね。それで本来であれば保育士さんの待遇改善に使われるべきところ、たとえば設備や施設に使われていたりとか。そういったところを行政としてどこまで口出しできるのか、という点。</p> <p>それと、51番ワーク・ライフ・バランスですけども、いま民間企業でも取り組んでいると思いますが、たとえば職場にいる時間が短くなっても結局仕事を家に持って帰ってやっちゃってしまったり、タイムカードを切っただけから残って仕事をしていたり、という企業なんかもあるんですね。</p> <p>そういった中で、もし市役所においてこういう取組が上手くいっているよ、というようなものがあれば、どういう手法を取られているのか、教えて頂けたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
		(副市長)	<p>民間保育園には児童数に応じて補助金を出しているのですが、使い方は社会福祉法人にある程度任されています。人件費がほとんどではあります。ただ指導監査というのもあるので、使い方指導であったり改善させたり、そういったことはしています。</p>
		(総務部長)	<p>ワーク・ライフ・バランスについて、市の方でも決まらずにうまくいっているわけではなくて、大変苦勞しているからこの項目があるという面もあります。</p> <p>うちで取り組んでいるのはイクボス宣言ということで、管理職がそういった考えを部下に示すという取組を</p>

II会議	2 坂井市行政改革の取組状況について	(総務部長)	<p>しています。</p> <p>休暇の取得日数については平均年7日ほどだったのが0.何日くらいずつ伸びているという状況で、時間外については、今年はコロナで偏りがあるので一概に比較はできないのですが、若干減ってきている状況かなというふうに思っております。</p> <p>また全職員を対象に働き方改革の研修をしまして、ITの活用や事務の効率化を進めていこうという意識づけをしましたが、なかなか実際思うようには進んでいかないというのが現状です。</p> <p>それと今年の場合はテレワーク、うちはまだテレワークできてはないのですが、そうしたことにも取り組もうということで始める予定です。</p> <p>とにかくありとあらゆることをしてワーク・ライフ・バランス、仕事と家庭、子育て、そうこともちゃんと両立できる仕組みを作りたいと考えているところです。</p>
II会議	3 その他	(井上会長)	<p>どうもありがとうございました。大変申し訳ありませんけども、すでに時間がオーバーしております。</p> <p>当初みなさんに一人一言ずつと申し上げていたのですが、時間の都合もありますので、以上で質疑を終了させていただきたいと思えます。</p> <p>その他ということで皆様から、また事務局からなにか。</p>
		(事務局)	<p>事前に伺っていた質問が2点ありますので、この場で、資料はないのですが口頭でお答えさせていただきます。</p> <p>1つめは、各コミュニティセンターにおけるWi-Fiの設置状況はどうかということでしたが、これは平成29年度から令和2年度の期間で順次設置し、現在全コミセンで設置済みとなっております。</p> <p>2つめは、各指定避難所及び自主避難所における自家発電設備の設置状況ということでしたが、指定避難所である小中学校、自主避難所であるコミュニティセンターでは、常設型の自家発電設備は設置していません。ただ各小中学校の倉庫に、持ち運びできる簡易型の発電機が各3台備蓄されております。</p>
		(井上会長)	<p>ありがとうございました、その他に皆様からございますか。</p>
		(委員)	<p>今年大きな地震がありました、その時に防災無線が機能していなかったと思いますが、あれは何故ですか。また今後も同じようなことがあるのですか。</p>
		(総務部長)	<p>気象庁の判断により予測ができなかったと聞いております。</p>
		(委員)	<p>われわれとしては、揺れたときに詳細まではわからず</p>

II 会議	3 その他	(委員)	<p>とも、地震があったということはすぐ知りたい。余震に備えてくださいという注意喚起であったりとか。家の中にいる人はテレビをつけてわかるということもあるのですが、外にいと防災無線というのは効力があると思うんで、それが機能しないというのはどうかと。</p>
		(総務部長)	<p>防災無線の内容については登録者にメールを配信しております。余震に注意ということはメールで行いました。</p> <p>防災無線自体が聞こえにくいといったご意見等もいただいていますので、市としてはメール配信の登録であったり、防災アプリの利用を薦めているところです。また今県が防災システムの改修をしているのですが、それが終わりましたら市の方でも同じシステムを導入して、防災無線も含めて改善を予定しております。</p>
III 閉会		(井上会長)	<p>それでは若干時間が押してしまいましたが、いろいろとご意見いただきありがとうございます。以上で本日の行政改革推進協議会を終わらせていただきます。</p>